みんなで実践！燃やすごみの減量にご協力ください！

私たちの生活から出るごみを減らし、限りある資源を大切に使うためには、「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」の考え方が重要です。

再生資源の集団回収（廃品回収）

町では、ごみの適正な分別とリサイクルの推進に取り組んでいます。また、子ども会・自治会・PTA などが自主的に行う再生資源の集団回収（廃品回収）に対し、助成金を交付しています。現在の団体登録数は 67 団体となっており、地域ぐるみで資源の再利用が進められています。

▲再生資源集団回収助成金についてはこちら

▲生ごみ処理機購入補助金についてはこちら

生ごみ処理機などの購入補助

家庭から排出される生ごみを減らすため、電動式生ごみ処理機や生ごみ処理容器（コンポスト・ダンボールコンポスト）を購入した家庭に、代金の一部を補助しています。生ごみの減量化とリサイクルを進めることで、快適な生活環境づくりを目指しています。

なぜ「燃やすごみ」を減らした方が良いの？

- 燃やすごみが多いほど、焼却施設で多くの燃料や電力を使用するため、二酸化炭素（CO_2）の排出が増加します。
- 燃やすごみを焼却すると灰が発生し、最終処分場に埋め立てる量が増えます。処分場の容量には限りがあります。
- ごみの量が増えると、収集・運搬・焼却・埋立てにかかる経費が増加し、町の財政負担が大きくなります。
- 紙類やプラスチック類など、本来は資源として再利用できるものが燃やされてしまうと、貴重な資源が無駄になります。
- 町の１人当たりの燃やすごみの年間排出量は158kgで、全国平均と比べても優れた数値です。今後も一人一人が分別と減量を意識することで、次の世代により良い環境を引き継ぐことにつながります。

町からのお願い

分別の徹底とごみの減量により、燃やすごみや焼却灰の量を減らし、省エネの推進を目標としています。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。

Savanah's Studio

サバナズ　スタジオ

Vol.09

CIR（国際交流員）サバナ・エリス

国際交流員のサバナが「アート」を通してアメリカの文化などを紹介する「Savanah's Studio」。第９回となる今回は、「オリオン座の思い出」についてお話します。

私は、オリオン座が星座の中で一番好きです。オリオン座のベルトを形作っているアルニタク、アルニラム、ミンタカの3つの星は、私にとって特別な意味を持ちます。

多くの人が最初に見つけやすい星座は、たいてい北斗七星（おおぐま座）の一部ですが、私が初めてひとりで見つけた星座はオリオン座のベルトでした。この星座を皆さんと共有したいと思ったのは、オリオン座が私に「ふるさと」を思い出させてくれるからです。私が4歳の頃、母がオリオン座について教えてくれました。これは私が覚えている中で最も古い記憶のひとつです。だから、オリオン座を見つけるたびに母のことを思い出します。

アメリカでは6歳になったら学校で星座について教わります。星座が書かれたポスターやカードを使って学んでいきます。

オリオン座は冬から初春にかけてしか見られません。ギリシャ神話では、狩人オリオンがすべての動物を狩ると誓い、大地の女神ガイアが怒り、サソリを送り込みました。オリオンはサソリの毒で命を落とし、神々は彼とサソリを星座として空に置いたため、オリオン座とサソリ座は同時に現れません。私は星空を眺めるのが本当に好きです。ホームシックになることがあっても、毎晩同じ星を家族も見上げていると思うと、心が落ち着きます。

夜、外に出たときは、ぜひオリオン座のベルトを探してみてください。

冬が大好きな私に、この星座がとても似合っていると感じています。（サバナ作）

連載【人権シリーズ企画㊻】

きらめく男と女

●問い合わせ
役場人権推進課　男女共同参画推進係
☎096(293)0863

大津町男女共同参画審議会委員
清原 彩世（きよはら あやせ）さん

3歳の頃から大津町に住み、今は通信制の大学に通っています。幼い頃から人権や道徳・倫理などの大切さをうたう社会に育ち、男女差別などとはほぼ無縁な世代に生まれたという自負があります。そんな中で母が大津町の議員に当選したことをきっかけに、今期の男女共同参画審議会委員の委嘱を受けました。

とある主婦の人から「娘の担任の女性の先生が結婚したの。その話を娘から聞いた時、娘は『先生は女の人と男の人、どっちと結婚したのかなあ』って言ったのよ」と話し掛けられたことがあります。その人の少し困ったような、それでいて少し誇らしげな表情を今でも覚えています。私は男女が共に手を取り合う社会のためには個人個人の意識が一番大切だと考えていました。しかしその話を聞いた時に、少なくとも「結婚」という言葉を聞いた時に異性間のものを想像していた私は、自分自身の無意識な偏見に気づきました。

私は「偏見」や「差別」は悪いことだと教わって育ちました。しかし、本当にそうでしょうか。パソコンに向かっている人を見て「お仕事中かな？」と想像することは、その質問を投げることで傷つく人がいるかもしれないと言う点も含めて、先の偏見によく似ています。トイレの男女の区別も、銭湯の区別も差別に似た形をしていると言われています。それらは全て悪意に満ちた「悪いこと」なのでしょうか。

人にそれぞれの認知限界がある以上、偏見は生まれるし、それが誰かを傷つけることもあるでしょう。それは大切な友人や恋人、家族かもしれないし自分自身も例外ではありません。それら無意識の偏見をどう捉え向き合っていくのか。私は今そこにこそ、男女が手を取り合う社会に必要なポイントがあると考えています。

それ、本当にただの鼻風邪？『子どもの花粉症』を見極めよう

花粉症の子どもの数は増加しています

主な症状　●鼻水・鼻づまり　●目、のど、皮膚のかゆみ

▶ 鼻づまりで夜に十分眠れない、集中できない
▶ 滲出性中耳炎（しんしゅつせい）や喘息など他の病気に発展する

こうした可能性もあるため、早めの対策が大切です。

花粉症と風邪を見分けるポイント

	花粉症	風邪
鼻水	透明でサラサラ	次第に黄色や緑色がかった粘り気のあるものに変わる
くしゃみ	連続して何度も繰り返す	連発することは少ない
目のかゆみ	強いかゆみ	ほとんどなし

悪化させないために

● **外ではマスクやメガネをする**

● **家に花粉を持ち込まない**
- □ 家に入る前に、服や髪の花粉をはらう
- □ 帰宅後、すぐに手洗い・うがい・洗顔
- □ 布団や洗濯物を室内干しに

● **空気清浄機を使用する**

● **加湿器を使用する**
乾燥による粘膜、皮膚のバリア機能の低下で、症状が出やすくなります。

小さなお子さんが自分の症状を話して伝えることは難しいものです。顔や目のあたりを頻繁にこすっていないか注意深く見てあげましょう。

わくわく子育て 81

子育てイベント情報チラシで最新情報をゲットしよう！

子育てカフェ（月1回、無料・要予約）

保健師や保育士などが対応します。気軽にお越しください！

日時　3月19日㈭ 10:00～15:30

場所　町老人福祉センター

協力　NPO 法人ペアレントネットワーク

申込　電話または二次元コード

役場子育て支援課
☎096(293)5981